

先天性大脳白質形成不全症の克服へ向けて

第11回市民公開セミナー

テーマ：進歩するソフトウェア・ツール

先天性大脳白質形成不全症は、ペリツェウス・メルツバッハー病などの稀ながら重度の障害を伴う小児難治性神経疾患です。今回は特別講演として、特別支援教育の現場から福島勇先生に最新の情報に関するお話を頂きます。是非、ふるってご参加ください。

日時 平成28年11月6日(日)

受付：12時～ 講演：13:00～16:00

場所 大阪大学医学部附属病院 14階講堂

大阪府吹田市山田丘2番15号 TEL: 06-6879-5111 (代表)

【講演】

● 先天性大脳白質形成不全症ってどんな病気？

—ホームページの充実と診療マニュアルの作成—

自治医科大学 小児科 小坂 仁

● 先天性大脳白質形成不全症研究の進展

国立精神・神経医療研究センター 神経研究所 井上 健

● 【特別講演】 肢体不自由児の自立や社会参加を支える

Assistive Technology の活用

～障害者用スイッチで電動おもちゃや家電品を動かすことからiPadや視線入力の活用まで～

福岡市立南福岡特別支援学校 福島 勇

● 子どもたちを見守る親の体験から

PMD 親の会メンバー

今回はボランティアの学生さんがお手伝いに来てくださる予定です。

主催 先天性大脳白質形成不全症リサーチ・ネットワーク

「遺伝性髄鞘形成不全の病態に基づく革新的な治療法の開発のための研究」班

「遺伝性白質疾患の診断・治療・研究システムの構築」班

<http://plaza.umin.ac.jp/~pmd/>

連絡先 先天性大脳白質形成不全症親の会

事務局 (pmd-info@m7.gyao.ne.jp)

参加希望者は上記までメールにて事前登録(締め切り10月20日)をお願いします。情報は上記ウェブサイトへアップいたします。

会場へのアクセスの詳細は大阪大学医学部附属病院ホームページをご参照ください。

セミナーへの参加費は無料です。

